

PARCO PRODUCE

迷子の時間

—THE FIRST—

私は知らない。
でも、思い出す。
想像するとは、
眠らないことを
思い出すことだ。



【出演】

前川知大

【CAST】

亀梨和也

貫地谷しほり

浅利陽介

松岡広大

古屋隆太

生越千晴

忍成修吾

【監督】(株)ハルコ

PARCO THEATER
OPENING SERIES

唯一無二とも言える世界観を持つ
劇作家・演出家の前川知大と
蜷川幸雄演出の『青い種子は太陽のなかにある』以来
5年振りの舞台となる亀梨和也が、
新生PARCO劇場のオープニング・シリーズで、
全く新しい世界を拓く!

[東京公演]

2020年11月7日(土)~29日(日)

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日
14:00																						
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

PARCO劇場 (渋谷PARCO 8F)

[入場料金]12,000円(全席指定・税込)

[前売開始]10月24日(土)

[お問合せ]パルコステージ 03-3477-5858(時間短縮営業中)

<https://stage.parco.jp>

[チケット取扱い]

※各プレイガイドでのチケット取扱い、はWebのみとなります。

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/maigo/> Pコード[502-971]

ローソンチケット <https://l-tike.com/maigo/> Lコード[33877]

イープラス <https://eplus.jp/maigo/>

[大阪公演]

2020年12月8日(火)~13日(日)

8	9	10	11	12	13
火	水	木	金	土	日
14:00					
19:00	●	●	●	●	●

サンケイホールブリーゼ

[入場料金]12,000円(全席指定・税込)

[前売開始]10月24日(土)

[お問合せ]キーワードインフォメーション

0570-200-888(平日、11:00~16:00)

[チケット取扱い]

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/maigo/> Pコード[503-099]

ローソンチケット <https://l-tike.com/maigo/> Lコード[53472]

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/maigo/>

CNプレイガイド <http://cn.jp/maigo/>

※感染拡大予防に対する取り組みとお客様へのお願いにつきましては、
公演直前に公式サイトに改めて掲載致しますので、ご確認の上、
ご来場下さいませ。

※チケットのお申し込みは一人様1公演につき1枚とさせていただきます。

※本公演のチケットは主催者の同意のない有償譲渡は禁止されています。

※本公演のチケット購入時に登録の氏名・緊急連絡先は、万が一来場者から感染
者が発生した場合などに必要に応じて保健所等の公的機関へ提供させていただきます。
※未就学児のご入場はお断りいたします。

※車椅子でご来場予定のお客様は、あらかじめご観劇券(チケット)をご購入の上、
座席番号を各地お問合せまでお早めにご連絡くださいませ(受付は公演前日まで)。

[STAFF]
音楽 = かみむら周平 / 美術 = 乗峯雅寛 / 照明 = 原田保 / 音響 = 青木タクヘイ / 衣裳 = 西原梨恵 / ヘアメイク = 河村陽子 / ドラマタージュ = 谷澤拓巳 / 舞台監督 = 林和宏
宣伝美術 = 東學(一八八) / 宣伝写真 = 消忠之 / 宣伝衣裳 = 佐藤美保子(亀梨和也) / 宮本真由美 / 宣伝ヘアメイク = 豊福浩一(亀梨和也) / 西岡達也 / 宣伝 = DIPPS PLANET
制作協力 = エッチビー株式会社 / 制作 = 山口萌、花澤理恵 / プロデューサー = 柳原一太、尾形真由美
製作 = 井上肇 / 企画・製作 = 株式会社ハルコ

PARCO PRODUCE
迷子の時間
— 話 室 2020 —

【作演出】
前川知大
【CAST】
亀梨和也
貫地谷しほり
浅利陽介
松岡広大
古屋隆太
生越千晴
忍成修吾

田舎町、ある秋の日の夕方。
人気がない山道で、一人の園児と
幼稚園送迎バスの運転手が姿を消した。
バスはエンジンがかかったまままで、争った跡はなかった。
手掛かりはほとんどなく、
五年経った今も、一人の行方は分からないまま。
消えた子供、その母、その弟、最初に現場に駆けつけた警察官、
消えたバス運転手の兄。
それぞれが思いを抱えながら迎えた五年目のある日、
三人が出会った人たち……
奇跡を信じて嘘をつき続ける霊媒師、
帰ることできない未来人、
父の死を知り実家を目指すヒッチハイカー、
遺品からじき父の秘密に迫ろうとする娘。
彼らを通して、奇妙な事件の全貌が見えてくる。

